

- 問1 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 琉球民族

2. 渡来人

3. 蝦夷（えみし）

4. アイヌ民族
- 問2 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 中央集権社会

2. 多文化共生社会

3. 高度情報化社会

4. 持続可能な社会
- 問3 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。

2. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。

3. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。

4. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。
- 問4 日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものととして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。

2. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。

3. 土偶は縄文時代に作られ、豊穰や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。

4. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。
- 問5 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 石包丁

2. 銅鐸

3. 土偶

4. 埴輪
- 問6 佐賀県の東名遺跡（ひがしみよういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。

2. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。

3. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。

4. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。
- 問7 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた

3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた

4. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
- 問8 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 堅穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。

2. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。

3. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。

4. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。
- 問9 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまったことを前提とした観賞用。

2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。

3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。

4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。
- 問10 山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。

2. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。

3. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。

4. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。
- 問11 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。

2. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。

3. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。

4. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。
- 問12 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 石包丁

2. 土偶

3. 青銅器

4. 埴輪